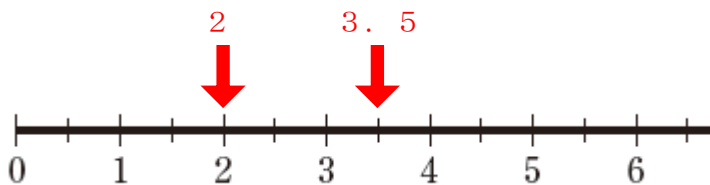


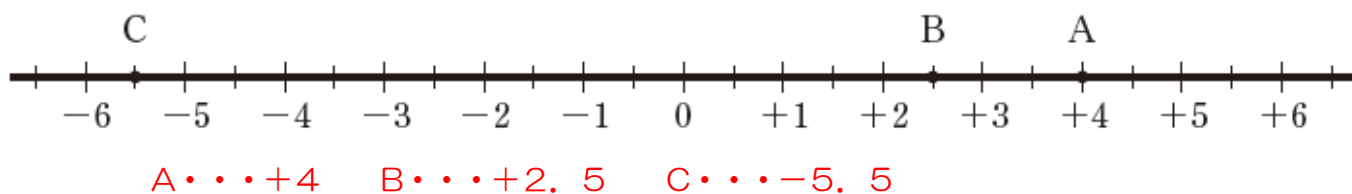
【本時の目標】

正負の数を数直線上に表すことができるようになろう。

□ 下の数直線上に、2と3.5を表す点をしるしてみましょう。



たしかめ1 下の数直線で、点A、B、Cに対応する数をいいなさい。



●負の数を含む数直線●

数直線上で0が対応している点を「**原点**」という。

数直線上で 右の方向を「**正の方向**」 左の方向を「**負の方向**」 という。

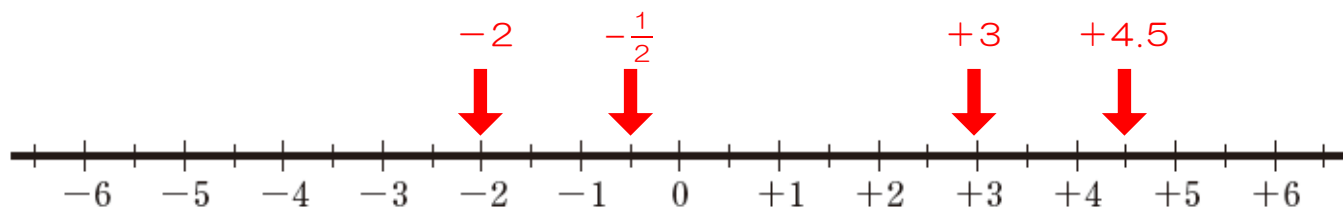
たしかめ2 下の数直線上に、次の数に対応する点をしるしなさい。

(1) +3

(2) -2

(3) +4.5

(4) $-\frac{1}{2}$



例1 -1と-3の大小関係を考えなさい。

例2 0、-3、+2の大小関係を考えなさい。

$-1 < -3$

$-3 < 0 < +2$

●正負の数の大小関係●

0と負の数をふくめた数直線上でも、右にある数ほど大きく、左にある数ほど小さい。